

『国際理解教育研究センター年報』第5号 投稿募集のお知らせ

1. 投稿資格

- (1) 宮城教育大学国際理解教育研究センターの教員及び客員研究員
- (2) 上記(1)に定める教員と共同研究に従事する者
- (3) 上記(1)に定める教員の指導する学生等
- (4) 共同執筆の場合には、執筆者全員が上記(1)(2)(3)のいずれかの要件を満たすこと。

2. 投稿規定

- (1) 投稿原稿は「国際理解教育」「小学校英語教育」「日本語教育」「外国語教育」に関する論文、評論、報告、所感、記録、その他とする。投稿原稿は初出原稿とする。
- (2) 原稿は、そのまま版下として入稿するものとするため、以下の諸点を厳守すること。
- (3) 原稿は原則として横書きとする。
- (4) 使用言語は、原則として日本語または英語とする。
- (5) 図表、写真はそのまま印刷できる明瞭なものとし、簡潔な説明を加える。刷り上りは原則として白黒である。
- (6) Microsoft Word で作成する。
- (7) 原稿は、1頁A4で提出する。原稿枚数は、仕上がり紙面の状態で12頁程度とする。日本語で書かれた論文の場合、横40文字、縦36行を標準とする。
- (8) 頁の上余白は35mm、下余白は30mm、左右余白は30mmとする。
- (9) タイトルのフォントはMS明朝体、太字、サイズは12ポイントとする。
- (10) 氏名のフォントはMS明朝体、サイズは11ポイントとする。
- (11) 見出しのフォントはMSゴシック体、太字、サイズは10.5ポイントとする。
- (12) 本文のフォントはMS明朝体、サイズは10.5ポイントとする。英文(半角)の場合には、10ポイントとする。
- (13) 注の文章や、参考文献名称などのフォントはMS明朝体、サイズは8ポイントとする。
- (14) タイトルは中央揃えにする。
- (15) タイトルと氏名、氏名と見出しの間に1行空ける。
- (16) 本文の書き始めは、全角で1文字分空ける。
- (17) 注や参考文献・引用文献は、本文の最後にそれぞれ一括する。
- (18) 1桁の数字は全角で、2桁以上の数字は半角で入力する。
- (19) 論文の最後に、執筆者の所属を記す。
(例) ー国際理解教育研究センター 教授○○○○ー

- (20) 論集全体の体裁を統一するために、フォント、サイズなど書式に関して、執筆者に修正を求めることがある。
- (21) 原則として原稿の校正は行わない。
- (22) 掲載原稿の著作権（公衆送信権を含む）は当センターに帰属する。なお、本誌内容を当センターのウェブサイトに掲載する予定である。
- (23) 執筆者に掲載誌3部を贈呈する。複数執筆者による原稿であっても単独執筆者と同様の扱いとする。
- (24) 原稿送付先・投稿に関する問い合わせ先
 〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 149
 宮城教育大学 国際理解教育研究センター 年報編集担当 中村宛
 電話 (022) 214-3382
 メールアドレス naka-k@staff.miyakyo-u.ac.jp

【字体一覧】

| | | | |
|--------|----------|----|--------|
| タイトル | MS 明朝体 | 太字 | 12pt |
| 氏名 | MS 明朝体 | | 11pt |
| 見出し | MS ゴシック体 | 太字 | 10.5pt |
| 本文 | MS 明朝体 | | 10.5pt |
| 注 | MS ゴシック体 | 太字 | 10.5pt |
| 注の文章 | MS 明朝体 | | 8 pt |
| 参考文献 | MS ゴシック体 | 太字 | 10.5pt |
| 参考文献名称 | MS 明朝体 | | 8 pt |

3. 執筆申し込みの締め切り

執筆を希望する者は 2009年12月4日(金) までに、「執筆申込書」に必要事項を記入の上、当センター・中村に提出すること。

4. 原稿受付の締め切り

原稿は、各研究室の担当教官による審査を経た後 2010年2月5日(金) 17:00 までに、国際理解教育研究センター・中村にメールにて提出する。刊行予定は3月末とする。締め切りは厳守とする。

サンプル

35mm

MS明朝体・太字・12pt
『国際理解教育研究センター年報』第5号
MS明朝体・11pt
投稿募集のお知らせ

(1行空ける)

国際理解子

(1行空ける)

1. 国際交流について → MSゴシック体・太字・10.5pt

1. 1□小学校の取り組み → MSゴシック体・太字・10.5pt

□当センターでは地域の国際交流への貢献を目指し、小学校へ留学生を派遣している。昨年2008年度の訪問は～ → MS明朝体・10.5pt

(1行空ける)

1. 2 交流を行った留学生の感想

小学校を訪問して、お互いの国の言葉を学んだりゲームをしたり歌をしたことは、私にとってとても良い経験となりました。私は～

・
・

注 → MSゴシック体・太字・10.5pt

□注の本文は1文字空け、MS明朝体8ポイントを使用する。 → MS明朝体・8pt

参考文献 → MSゴシック体・太字・10.5pt

言語科学 1997 「書式について」『言語科学論集』1

言語科 花子 1993 「投稿について」『言語の研究』123

→ MS明朝体・8pt

— 国際理解教育研究センター 教授 国際理解子 —

→ 所属と氏名

30mm

30mm

30mm

『国際理解教育研究センター年報』
執筆申込書

| | |
|--------------|---|
| 投稿者 | |
| (仮) 題目 | |
| ページ数 (予定) | 約 |
| 連絡先 | |